

よかご通信

2009年10月号

O2Farm【オーツーフาร์ม】 大津耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: o2farm@aso.ne.jp

O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi

バックナンバーID = o2farm

秋が深まってまいりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。南阿蘇では朝の最低気温が10度を切るようになり、羽毛布団の他にもう一枚かけたくなるほど。夏は涼しくて最高ですが、これからの季節は隙間風との闘いとなる築120年の古民家暮らしです。

9月の上旬から約1ヵ月半続いた稲刈り作業も残すところあと1日。我が家の稲刈りは先に田植えをした分が3日、後から植えた分が3日の合計6日間。あとは他所から頼まれる稲刈り作業です。励志&耕太コンビは「オペレーター」と呼ばれ、お年寄りや兼業農家から稲刈りを任されるのです。4条ずつ刈ることができコンバインが大活躍。コンバインのような高価な機械はふつう借金をして買うものなので、こうして作業を増やすことで償還していきます。さすがに1ヵ月半もコンバインにばかり乗っていると飽きてくるようで、「早く終わらないかな〜」と二人。でも年々あてにされることが多くなっているのです。宝くじが当たってもやめられないのかもしれないかもしれません!? 写真は「ひこばえ(孫ばえ)」と呼ばれる、イネのお孫さん!? 稲刈り後も、まだ根っこが活着している証拠です。



耕太が稲刈り作業に明け暮れている間に、私は滋賀まで行ってまいりました。「農とエネルギーのある暮らし」というトークイベントに呼ばれたのです。もちろん3人の息子達も連れて。イベントは滋賀県を中心に活動しているNPO 菜の花プロジェクトネットワークが開いたもので、出入りしている学生達が「環境の仕事や農業にも興味があるけど、大変そうで踏み込めない」と言っているのを聞いたのがきっかけでテーマを決めたのだそうです。ゲストに呼ばれたのは、私の他に2名。歌手・加藤登紀子さんの娘さんで「半農半歌手」を名乗るYaeさん。農への思いや子供の年齢が似ていることから、2年前に初めて会った時から意気投合したよき友人です。それからフォトジャーナリストの山田周生さん。取材するだけではなく、ご自身もパリダカに出場されて完走しているとのこと。使い終わった天ぷら油を燃料にしながら世界を一周するという、前人未到のプロジェクトを成功させた方です。さていよいよトークショーの始まり。「農業だけでも大変そうなのに、それ以外のお仕事や子育てもするというのは大変ではないですか」との学生からの問いに「それなら何をすれば楽だと思いますか」と切り返したところ、会場から拍手をいただきました。そう。農業が大変なのは分かっています。でも他の仕事だってみんな大変なことがあるはず。そう思えば、農業にはいいところもたくさんあるのです。家族が近くにいいこと、残業や通勤がないこと、通勤しなくていいこと、嫌な上司がいないこと…。Yaeさんもまた農や土の魅力を語り、そして周生さんは世界を見てきて思うこと、という前置きで「食べものとエネルギーが自給できれば戦争はなくなるはず」とくり返しました。政権交代でどんな政策になるかは分かりませんが、食べるものを作っている、ということへの自信と誇りを忘れずに、できることからしていきたいと思っています! ちょっと話が難しくなりましたが、現実は大と

3人の息子たちのお腹を満たすため、給仕のような毎日です(笑)。



さて稲刈りが終わると、間髪いれずにワラ集めや牧草の作付けが待っています。脱穀が終わり、田んぼに残されたワラは立派な牛のエサ。天日で乾燥したものをロールにして積んでおけば、冬の間の貴重な保存食というわけです。今年は肝心のお米は花の咲く時期の長雨や日照不足が影響してか、収量が伸び悩んだのですが、ワラの方は台風被害もなく、上々(?)の出来。そしてこの大きなロールを運ぶ作業は、子供たちにも大人気。わらをマットに闘いごっこが始まったかと思うと、お次はロールの上をピョンピョン跳びまわります。軽トラックやトラクターにも乗れるチャンスなので、作業の様子を伺い

つつ機械が動き出すと、「乗りたい!」と手が挙がります。コータは雨が降る前に集めて、濡れないように早く保管したいのですが、はやる心をぐっところえて、ついつい乗せてあげてしまうことも。

10月中には、稲刈りもワラ集めも、そして牧草の種まきも終わります。機械の整備やキュウリの後片付けなどなど、まだやることはありますが、時間的にはだんだん余裕が出てくるようになる季節。タカナの種も蒔きたいし、タマネギの苗も植えたいな。シイタケのホダ木や薪は足りるかしら? などなど。O2ファームの暮らしはスローライフだね、と言われることがよくあるのですが、スローと言えるほどのんびりしていません。むしろ手間がかかることばかりしているので、忙しいような気さえします。その分ストレスは少ないのですが。

来週は子牛をセリに出します。今回は4頭も。あか牛担当の励志は手入りに余念がありません。2ヶ月おきに開かれる「牛の子市」。今年はあと2回。1年が経つのは早いものですね。どうぞ皆さまインフルエンザにはくれぐれもご注意の上、秋の夜長をお楽しみ下さい。

